

| | |
|----------------|--|
| 教職大学院 授業科目名 | インクルーシブ教育の理論と課題 |
| 授業の目標 | 「共生社会の形成」という観点から、障害の有無にかかわらず全ての人間が支え合いながら社会を構成しているという意識を涵養する。事例に基づいて課題を考察しながらインクルーシブ教育の理念と内容を理解し、その実現に必要な能力を身に付ける。 |
| 実施日 | 2020年10月22日(木) 8:50~12:00 |
| 公開授業の タイトル | 日本の障害児教育の歴史(養護学校の義務制施行以降)と海外の状況 |
| 公開授業の 目標 | 養護学校の義務制施行(1979年)以降の日本の障害児教育の歴史を学び、特殊教育制度から特別支援教育制度への転換などについて理解するとともに、海外の状況を知り、インクルーシブ教育のあるべき姿について考える。 |
| 授業の内容 | <p>【講義】養護学校の義務制施行(1979年)以降の障害児教育の歴史(神奈川を中心に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学手続きの見直し ・特殊教育制度から特別支援教育制度への転換 ・障害者の権利条約とインクルーシブ教育への取組 ・インクルーシブ教育への神奈川の取組 <p>【講義】『世界の特別支援教育・インクルーシブ教育』</p> <p>【演習】諸外国でのインクルーシブ教育への取組に関するビデオを視聴し、インクルーシブ教育のあるべき姿についての議論</p> |